

高田援護室長の模型部屋(第24回)

皆さん、こんにちは。ハロウィンの季節がやってきました！街にはカボチャのお化けが飾られ、様々な関連グッズが販売されています。早くもサンタさんの置物まで一緒に並んでいるお店もありますが・・・さて、ハロウィンと言えばやはりコスプレでしょうか。お化けや魔法使いはもちろん、アイドル、看護師、警察官、さらには海賊に軍服など、皆さんもこの季節はコスプレライフをエンジョイしているのでは？

そうそう、自衛隊に入隊すると年間を通じて迷彩服や制服を着て仕事をすることができますよ。(笑) コスプレ・・・ではなく、自衛隊に興味のある方は、新潟地方協力本部または近くの地域事務所等までご連絡ください。**自衛官候補生の種目はまだまだ応募を受け付けてますよ！**

コスプレの冗談はさておき、今回紹介するのは・・・

60式装甲車(64MAT搭載)です。



60式装甲車は、過去に「所長の模型部屋」で紹介していますので、細部は省略します。前回紹介した64MATを、静岡県御殿場市にある板妻駐屯地普通科教導隊の60式装甲車が、富士総合火力演習で試験的に搭載したことがあり、それをフィンモールドさんが模型化したものです。当然、私は実車を見たことがありませんので、資料写真を見ながらの製作となりました。

ジープに搭載された64MATもカッコイイですが、装甲車に搭載された64MATもなかなかカッコイイです。AT-3サガー対戦車ミサイルを搭載したロシアのBRDM装甲車のようです。



車体は全てGSIクレオスの陸上自衛隊戦車色を使用しています。操縦席の入り口が狭いのでフィギュアを後から乗せることが出来ず、車内に先に固定してから車体上部を被せるという手順が必要でした。



実車の写真を見ても、発射機の基部は手作りのような感じがします。結局量産されなかったため、富士総合火力演習でしか見る事が出来なかったようです。発射機が地上から高い位置にあるので、ミサイルを装填するのが大変そうです。



乗員は全てファインモールド社の陸上自衛隊戦車乗員セットを使用し、旧迷彩服にしています。GS1クレオスの明灰白色の上に暗緑色、レッドブラウン、フラットブラックで迷彩を表現しています。旧迷彩服は手元に残っていないので、私物の迷彩帽や過去の写真等を参考に塗り分けました。操縦手の顎の位置は、操縦席の操向ハンドルが前方なので、必然的に前になります。



ワイヤーはフラットブラックで塗装した後に、メタルカラーのダークアイアンを塗りこみ、磨いて金属感を出してます。重機関銃も同様です。わかりますかね・・・



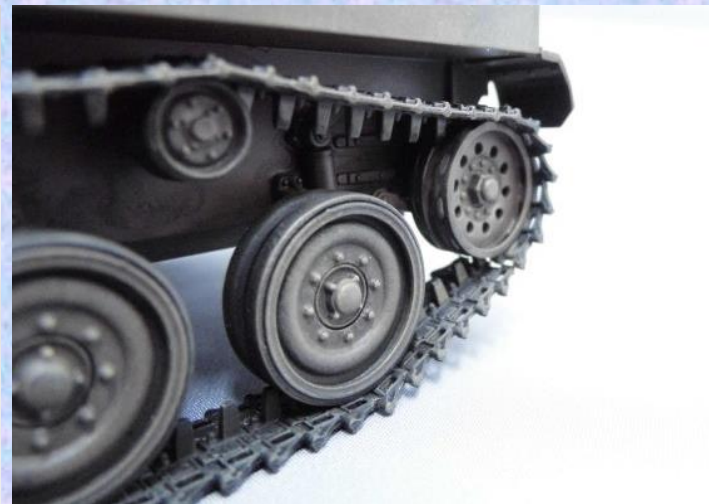
発射機の前にアンテナがあると発射時に接触するので、それを切り取り、アンテナ基部を取り外した状態になったように改造しました。実車も取り外していたようです。



車長ハッチ廻りのペリスコープは、外から見ると車内塗装の白色が少し見えるので、透明部品であることを活かして再現。前方銃手席はパレードの時以外、ほとんど乗らないので閉めたままです。



履帯と誘導輪、起動輪の接触部も鉛筆芯の粉やメタルカラーを使用して、金属の地金が露出したところを表現しました。写真じゃ分かりづらいか...



泥は控えめにし、ウェザリングスティックを塗りたくったり、ドライブラシしたりして程よい使用感を出しました。





車体上部から下に向かって埃が風雨で流れている感じを出してみました。どうでしょうか？足をかけるフェンダー上は泥が溜まるのでウェザリングスティックで多めにドライブラシしています。



装甲車の上に露出した対戦車ミサイルの姿は、昭和っぽいイメージを醸し出しています。前進指示を出す車長、対空監視をしながら発射準備に取り掛かるため下車しようとする操作員…には見えないか(笑)

射撃陣地進入！
射撃準備！
対空警戒を厳にせよ！



ということで、
また次回お会いしましょう。